

第2回 日本光合成研究会シンポジウム

「光合成研究におけるモデル系と新しい研究のアプローチ」

日時：2002年5月31日（金）13：00－6月1日（土）12：40

場所：岡崎コンファレンスセンター（電話：0564－57－1870）

プログラム

5月31日（金）

13:00～13:10 はじめに（会長あいさつ） 村田紀夫（基礎生物学研究所）

-光合成研究のためのモデル系：特性と今後の可能性-

13:10～13:50 ヒメツリガネゴケ 長谷部光泰（基礎生物学研究所）

13:50～14:30 クラミドモナス 福沢秀哉（京都大学）

14:30～15:10 ラン藻 小俣達男（名古屋大学）

15:10～15:40 休憩／ポスター

-トピックス-

15:40～16:20 光合成系に対する活性酸素の作用機構 西山佳孝（愛媛大学）

16:20～17:00 葉緑体の分裂装置による分裂機構：原始紅藻の超微形態とゲノム情報を基盤とした解析 宮城島進也、黒岩常祥（東京大学）

17:00～17:40 フォトリピンによる光情報の受容：葉緑体運動と気孔開口にお

ける役割 和田正三（東京都立大学）

17:40～18:10 総会

18:30～ 懇親会（一般 4000 円、学生 2000 円）

6月1日（土）

8:45～10:00 ポスター発表

-植物個体を用いた光合成研究の方法-

10:00～10:40 形質転換植物を用いた光合成研究 徳富光恵（農業生物資源研究所）

10:40～11:20 シロイヌナズナのタグラインの光合成研究への活用 谷口光隆（名古屋大学）

11:20～12:00 シロイヌナズナの変異株と PAM を用いた光合成電子伝達系の研究 鹿内利治（奈良先端科学技術大学院大学）

12:00～12:30 総合討論

12:30～12:40 閉会の辞 村田紀夫（基礎生物学研究所）